

2023年度 環境経営レポート



作成日：2024年8月31日

(対象期間：2023年6月1日～2024年5月31日)

〒385-0025 長野県佐久市塚原2361

株式会社 佐久総合

はじめに

当社の事業年度に合わせ、毎年6月から翌年の5月までをひとつの区切りとしています。
建設業にとって地域と密着し、環境に配慮した施工を行うことは、現在の重要課題の一つです。
2023年度の活動についてまとめました。

1. 事業活動の概要と環境経営実施体制

1-1.事業所名

株式会社 佐久総合

1-2.所在地

長野県佐久市塚原2361

1-3.環境保全関係の責任者及び担当者

経営者 : 代表取締役 小林 弘行
環境管理責任者 : 専務取締役 小林 哲郎(次年度 常務取締役 小林 拓也)
事務局 : 神津 英喜

1-4.連絡先

TEL : 0267-68-2340
FAX : 0267-68-2335
E-mail : sakusogo@cocoa.ocn.ne.jp

1-5.事業内容(認証登録範囲:土木工事の設計施工)

土木工事の設計施工、工作物の解体を行う工事
次のとおり特定建設業の認可を取得しています。
土木一式.とび土工.石.釧構造物.舗装.しゅんせつ.塗装工事業
長野県知事許可(特-27)第 12982 号
産業廃棄物収集運搬業(※自社の産業廃棄物の収集運搬のみ)
長野県知事許可番号 2000083749 号

1-6.事業規模

完成工事高(2023 年度)	478 百万円
資本金	20 百万円
従業員数	15 名
床面積	330 m2

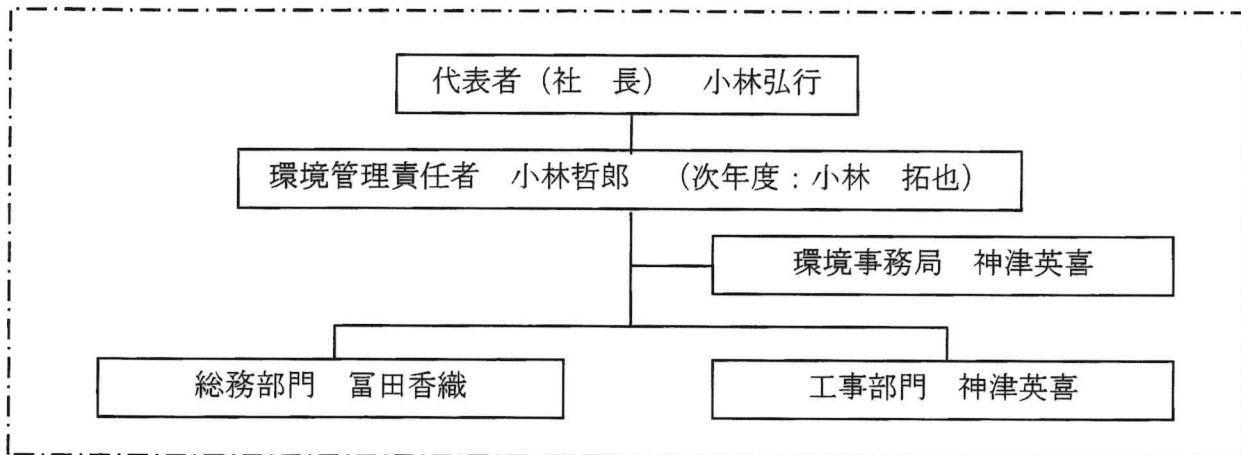
1-7. 認証・登録の対象範囲

全組織および全事業活動

1-8. 環境経営実施体制

経営組織

環境取組体制図



代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認 ・【課題とチャンス】の策定
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

2. 環境経営方針

株式会社 佐久総合 環 境 経 営 方 針

基本理念

当社は、環境に関する社会の関心が高まりのなか、土木工事の施工を通じ環境問題に積極的に取り組むことにより環境改善を図り、豊かな人間生活に貢献した取り組みを推進する。

環境経営方針

- 1) 事業活動において、省資源・省エネルギー・節水に努めます。
- 2) 産業廃棄物の削減をはかり、再利用・再資源化に努めます。
- 3) 環境に関わる関連法令を遵守し、環境保全の向上に努めます。
- 4) お客様に環境に配慮した工法・製品での建設物を提案し推奨します。
- 5) 地域貢献活動に積極的に参加し、環境意識の向上に努めます。
- 6) 環境活動を公表することにより、社員の意識向上に努めます。

制定日：2012 年 1 月 8 日

改定日：2024 年 11 月 1 日

株式会社 佐久総合

代表取締役

小林弘行

3. 環境経営目標（中長期）

6月～5月

項 目		単 位	基準値(2023年)	2024年目標	2025年目標	2026年目標
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2	180,518	178,713	176,908	175,102
		(%)	100%	99%	98%	97%
	電力	kWh	43,877	43,438	42,999	42,561
	ガソリン	ℓ	14,608	14,462	14,316	14,170
	軽油	ℓ	44,206	43,764	43,322	42,880
	灯油	ℓ	6,285	6,222	6,159	6,096
	一般廃棄物	kg	283	現状維持		
	産業廃棄物 再資源化率	%	98.8	98.9	99.0	99.1
	水使用量	m ³	80	現状維持		

中部電力(株) 2021年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.388kg-CO2/kWhを使用

4. 環境経営計画とその実績

4-1.環境経営目標にもとづく環境経営計画

	項 目	活動計画	活動項目	評価
1	電力の削減	1 照明の消灯	・ 必要箇所のみの使用	○
			・ 昼休みの消灯	○
		2 エアコンの適正使用	・ 設定温度の適正化	○
			・ フィルターの定期清掃	○
		3 省エネ機器の使用	・ LED 型蛍光灯の配光を見直す	○
			・ 事務機器を省エネ設定とする	○
		4 暖房器具の使用量削減	・ 不在時の暖房停止	○
			・ 設定温度の適正化	○
2	燃料の削減	1 省エネ運転の実施	・ エコドライブの実施	○
			・ 待機時のエンジン停止	○
		2 施工計画の実施	・ 早め早めに段取りする	○
			・ 発注と打合せを密に行う	○
		3 地域とのコミュニケーション	・ 工事情報について、地域へ連絡する	○
			・ 地域に考慮した看板、交通規制を行う	○
3	産業廃棄物 再資源化率	再資源化率をアップする		—
4	総排水量	現状維持		—

4-2. 環境経営目標の実績と評価

6月～5月						
項目		基準値 (2021年度)	2023年度 目標値		2023年度 実績値	達成状況
CO2総排出量(kg-CO2)		263,927	98%	258,648	180,618	-30%
電力	kWh	40,786	98%	39,970	43,877	
	kg-CO2	19,251		18,866	17,024	
ガソリン	ℓ	14,602	98%	14,310	14,608	
	kg-CO2	33,877		33,199	33,891	
軽油	ℓ	70,132	98%	68,729	44,206	
	kg-CO2	180,940		177,321	114,056	
灯油	ℓ	11,991	98%	11,751	6,285	
	kg-CO2	29,857		29,260	15,650	
上水道	m ³	101	100%	101	80	-21%
一般廃棄物	kg	292	100%	292	283	-3%
産業廃棄物 再資源化率	%	98.2	100%	98.2	98.8	1%

中部電力㈱ 2021年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.388kg-CO2/kWhを使用

達成状況の反省と展開

評価:

- (1) 目標が達成できた。
現場数が多かったが手戻り無く進められた。

来年度への展開:

- (1) 来年度も今年度と同等の工事量が見込まれる。
(2) 2 件橋梁工事が受注済みである。
(3) 来年度も目標達成出来る様、引き続き現場及び事務所業務で無駄のない作業を徹底する事。

4-3. 2024 年度(次年度)環境経営目標にもとづく環境経営計画

	項 目	活動計画	活動項目	評価
1	電力の削減	1 照明の消灯	・ 必要箇所のみの使用	
			・ 昼休みの消灯	
		2 エアコンの適正使用	・ 設定温度の適正化	
			・ フィルターの定期清掃	
		3 省エネ機器の使用	・ LED 型蛍光灯の配光を見直す	
			・ 事務機器を省エネ設定とする	
		4 暖房器具の使用量削減	・ 不在時の暖房停止	
			・ 設定温度の適正化	
2	燃料の削減	1 省エネ運転の実施	・ エコドライブの実施	
			・ 待機時のエンジン停止	
		2 施工計画の実施	・ 早め早めに段取りをする	
			・ 発注と打合せを密に行う	
		3 地域とのコミュニケーション	・ 工事情報について、地域へ連絡する	
			・ 地域に考慮した看板、交通規制を行う	
3	産業廃棄物 再資源化率	再資源化率をアップする		
4	総排水量	現状維持		

5. 環境教育の計画と実施

No.	教育訓練名称	対象者 実施日	講師	内容
1	全従業員教育	2023.7.3 全社員	事務局	当社の環境活動方針 環境活動計画目標書
2	〃	2024.1.5 全社員	事務局	現場及び、事務所での 効率的な作業の検討会

6. 緊急事態の特定、準備、訓練

No.	緊急事態と影響の内容	主な対応方法
1	施工現場における 緊急事態訓練	元請工事において、工事内容に応じて訓練を実施した。
2	施工現場における 緊急事態訓練	事務所での火災を想定し、初期消火、NASの持出し、 消防署へのTELを訓練した。

7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

次の法が適用され、2024年6月24日、遵守の確認を行ったところ、下記の結果でした。
 なお、関係当局よりの違反の指摘は、過去5年間ありません。

適用法	法規制内容	
フロン排出抑制法	解体工事内のフロン使用機器の有無 簡易点検の実施	○
建築基準法	石綿その他の物質の飛散又は発散に対する衛生上の措置)	○
騒音規制法	特定建設作業の実施の届出	○
振動規制法	特定建設作業の実施の届出	○
廃棄物処理法	許可業者に委託(産廃は契約) マニフェスト交付状況の報告 準多量排出事業者の届出	○
リサイクル法	分別回収し再資源化の促進	○
建設リサイクル法	建設廃材の抑制・再資源化費用の低減 建築物等の分別解体・再資源化対象建設工事 土・土砂のリサイクル(ストック・再利用)	○
石綿障害予防規則	事前調査の記録保存 作業の届出 石綿等の除去等に係る措置	—
消防法	危険物の規制に関する政令届出 400～2,000L 消防用設備等の点検・報告	○

評価:

遵守評価の結果、問題はありませんでした。

産業廃棄物関連の各種の届出、報告が適切に実施されていました。

8. 経営者による評価の実施

経営者による取組みの見直しを行い、次の結果が得られました。(2024.7.1)

インプット(審議事項)	アウトプット(見直し結果:社長指示)	担当	期限
1.公共工事の入札が、通常に戻り、受注がしづらくなる。 民間工事及び、下請工事が重要である。	1.引き続き人脈から、経験者や若い人の採用を進めたい。(継続) 下請会社とよく打合せし、手戻りしないこと。	小林	7月から
2.是正処置を2件実施した。	2. 古い2tダンプの処分と、利用頻度の多いBH0.2の新規購入が出来てよかった。 利益が出た分は設備投資し、効率アップするので申請すること。 今後、ICT活用の為、ソフトを導入したので、3D 測量機器を検討のこと。	現場 代理人	今年度